

経済産業委員会

令和4年3月2日（水）  
午後1時15分～午後3時21分  
議会第3会議室

【出席委員】実松尊信委員長、江原新子副委員長、中島妙子委員、江口善己委員、  
稲葉嵩広委員、松永幹哉委員、堤正之委員、千綿正明委員、  
中野茂康委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

・交通局 志満交通局長  
ほか、関係職員

【案件】

・付託議案について

○実松委員長

それでは、ただいまから経済産業委員会を開催いたします。

最初に、4常任委員会による連合審査会についてお諮りいたします。

第1号議案 令和4年度佐賀市一般会計予算中、第1条歳入全款及び第4条の審査につきましては、当委員会への付託議案と関連がありますので、佐賀市議会会議規則第103条の規定に基づき、連合審査会を開催して審査したいと思います。御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしとのことですので、第1号議案 令和4年度佐賀市一般会計予算中、歳入全款及び第4条の審査については、連合審査会を開催することに決定しました。

次に、審査日程ですが、お手元のタブレット端末の経済産業委員会フォルダ内に掲載の審査日程案のとおり進めたいと思います。

また、付託議案の審査のため、現地視察を希望される場合は、マイクロバスの都合がありますので、早めにお申出ください。現地視察は、議案に関連し、賛否の判断に関わるような場合などに実施することに留意いただきますようお願いいたします。

それから、連合審査会時の席次につきましては、タブレット端末に掲載しております席次表のとおりですので、よろしく願いいたします。

ここで、一旦、経済産業委員会は休憩いたします。連合審査会終了後、経済産業委員会を再開して、引き続き議案審査を行いますので、よろしく願いいたします。

それでは、この後、連合審査会が開催されますので、大会議室へ移動をお願いいたします。

◎午後1時17分～午後2時48分 休憩

○実松委員長

それでは、経済産業委員会を再開いたします。

審査に入ります前に、注意いただきたい点を幾つか申し上げます。

執行部におかれましては、限られた時間で集中的な審議が必要ですので、簡潔な説明を心がけてください。当初予算は非常にボリュームが大きいので、新規事業や主要事業のほか、経常的な費用については、主なもの、前年度と比較して大きく変わったものを中心に説明をお願いいたします。また、答弁は役職にかかわらず、質問に回答できる方がされるようお願いいたします。

それから、委員の皆様におかれましては、多岐にわたる質疑をお持ちかと思いますが、一度にたくさんの質疑をされますと答弁が分かりにくくなりますので、1回につき2問くらいに絞って質疑していただければと思います。

それでは、交通局に関する議案の審査に入ります。

第5号議案について、執行部より説明を求めます。

◎第5号議案 令和4年度佐賀市自動車運送事業会計予算 説明

○実松委員長

ただいまの説明について委員の皆様から御質疑をお受けします。御質疑がある方は挙手をお願いいたします。

○千綿委員

n i m o c a の件ですけど、10倍デーを廃止されるということだったんですが、統計的にどのぐらい普及しているのかということと、その経費の問題等々があると思うんですよ。普及するためにやられたと思うので、ある程度まで普及が進んだのもうやめられるということなのかということと、たしか勉強会で新車購入と中古車の購入も何かあったと思うんですが、新車にするのか中古車にするのかという基準というのは何かあるんですか。取りあえずその2点を。

○大野副局長

まず、n i m o c a の件につきましては、大体50%程度の使用状況になっております。よその同じn i m o c a を導入しているところを見ましても、大体西鉄が断トツで、70%以上の利用の状況になっております。ほかは大体4割から5割ぐらいで何年か推移している様子でございます。私どもも徐々に伸びておりますけれども、50%にはもう手が届いておりますので、ある程度、導入期の目標は達成されているものというふうに感じております。

それから、新車か中古車かということですが、まず、新車3台は補助もいただきながら購入を予定しております。これまではポンチョタイプというか、小さいタイプのもので、特殊なものでございまして、新車で購入しますと意外に高いものですが、大体車齢で10年ぐらいのものを私どもとしては比較的廉価な価格で、そういう市場から購入がで

きているということで、1台は中古車での取得と、大体一度路線バスで走っていたものを活用させていただいているという様子です。

○千綿委員

さっき交通局資料1のやつで、ノリのりワイドというのがありましたよね。これは何かチケットを買うのかどうか。例えば、電子マネーを持っていて、それで共通して使えるとかにはなっていないのかな。そこら辺がちょっと聞きたい。

○大野副局長

ノリのりワイドにつきましては、定期券としてn i m o c aのICカード化をしております。ですから、学生が日頃通学に使いながら、チャージしていればお買物などにも使うことができるというものです。

○千綿委員

9月までは1か月3,500円じゃないですか。ということは、3,500円払って、その1か月間乗り放題なわけでしょう。それを電子カードに入れとって、支払いはノリのりワイドを買っていれば、そのカードをかざせばただで乗れるということではないんですか。

○大野副局長

定期券という位置づけですので、3,500円をお支払いいただければ、一か月間はどの区間で乗っていただいてもそのまま、3,500円の範囲内で御利用いただけると。

○千綿委員

これは直接議案と関係なかばってん、今まで例えば、議員に歳費のときにチケットを売りよったやん。今なかでしょう。いやいや、別にいいけれども、せつかくならある程度支援もしたほうがいいのかとちょっと思ったので、これはちょっと蛇足ながら。

○大野副局長

ペーパーの回数券をICとともに廃止しておりますので、回数券というのが今——回数券を過去御購入いただいたものについては御使用いただけますけれども、新たな販売はもうやっておりませんで、全てそういうものはICカード化しているという状況です。

○実松委員長

ほかに御質疑。

○松永幹哉委員

1点教えてください。

さっきのノリのりキャンペーンとか、そういうキャンペーンを打つときの広告費というのはその事業に入っているのか、それとも一般管理費の中の広告費でPRしているのか、それはどっちなんですか。

○大野副局長

旅客誘致費の中で費用は持っておりますけど、いわゆる広告というところでは特別な広告は行っておりませんが、このキャンペーンというか、この費用については旅客誘

致費の中に含まれております。そこを減額して計上しております。

○松永幹哉委員

ということは、いろんなイベントをする内容の中にそういうイベントの広告費用も含んで計上しているということですか。

○大野副局長

もしこれを皆さんに特に周知を図らないといけないということになれば、広告の費用として計上を別途しないといけないと思いますが、私どもは日頃、ホームページであるとか、そういったものでさせていただいており、あるいはどこかの媒体ということであれば広告費からの支出ということになるかと思えます。

○実松委員長

ほかに御質疑は。

○江口委員

空港リムジンバスについてお尋ねします。

航空機が減便されたり、なかなか不定期ですね。だから、当然利用者も減るでしょうが、平均的に見ると、交通局全体の収益のレベルとリムジンバスの収益のレベルというのはどうでしょうか。

○大野副局長

ピークのときに関しましては、5台のバスをフルに使ってという状態がありましたので、いわゆるドル箱の路線、ゆめタウンなどと同じようなドル箱路線となっております。特にピークでは並んでいらっしゃるお待ちのお客様が多くて、臨時に増便を出してというようなこともやるような状態、インバウンドの需要が多いときはそういう状態でございました。いわゆるドル箱でございました。ただ、今は1日数便で、乗客の方も非常に少ない状態が続いておりますので、もうけが少ないと言ったらあれですけども、収益が悪くなっております。

○江口委員

今はやむを得ませんけれども、ドル箱だったということを聞いて少し安心しました。

それからもう一つ、これも県がされていますけれども、空港活性化の中でリムジンタクシーがありますね。嬉野とか柳川とか遠方は結構、常識的に見ると3分の1ぐらいの価格なんですよ。佐賀市中心部からの利用はたしかないんですよね。交通局を意識してそれはないのかなど。いかがでしょうか。

○大野副局長

私どもへの配慮があるかどうかはちょっと分かりませんが、ほかに確かにレンタカーなども廉価に借りることができたりという施策もありますので、私どもを意識してかということは分かりませんが、単純に距離からすると600円以上かかる路線ですけれども、上限の600円までという距離に、13キロメートルありますので、上限のところで運行させ

ていただいているという状況でございます。

○江口委員

空港に行くんじゃなくて、途中、普通のバス同様に空港以外での利用といたしますか、そういうのはいかがですか。

○大野副局長

直行便ではちょっと御利用いただけないケースもありますけれども、定期で送っているものについては、お一人、2人という途中での御利用というのは中にはあります。ただし、やはり佐賀駅バスセンターから空港までの直で御利用いただくというのがほとんどの様子でございます。

○実松委員長

ほかに御質疑は。

○千綿委員

今、市の職員で定期を買われている人数とかは把握できていますか。一応公営企業だから、佐賀市の職員はなるべくなら乗ってほしいじゃないですか。なるべくなら定期で買っていて、応援するというのが本来の姿かなと思うんですが、実際、1,600人ぐらいの人員の中でどのぐらい定期を持たれているのか、把握はできていますか。

○大野副局長

今、数字は手元に持っておりませんが、私ども直感的にはこのバスセンターとか市役所前の利用を見ますと、朝の通勤では職員が乗り降りしている様子が見受けられますので、相当な数はあろうかと思えますけど、正確に把握しておりません。

○志満局長

補足なんですけれども、直接、職員が全体のどれぐらい市営バスを使っているかというところについては統計的なデータはないんですが、ただ、市のほうでいろんなイベント、いろんな行事、例えば、県庁とか北部も含めていろんな施設がありますけれども、そういうときには、最寄りのバス停で何時からの会議だったらどのバスを使えばその会議に間に合うよといった案内はそれぞれの課で、率先的に市営バスを使える場所での会議は市営バスを使ってくれと、そういうことはかなり強く働きかけを行っております。

○実松委員長

ほかにございませんか。

○稲葉委員

一般会計から繰り出しを行っている以上、1つ言わせていただきたいんですけれども、やはり今、非常に厳しい状況ではあると思います。しかしながら、経営状況も改善しなくてはならないような数字も見受けられますので、経費削減であったり、増収の方策がもう少し何かあれば、この2点だけだとあまり改善の兆しが見えないような気がするんですよ。結構市民の方も、ほとんど空車で走っているバスを見て、大丈夫なのと皆さんおっしゃっ

ているんですね。そういった市民の声もちょっと受け止めていただいて、より長い目で見  
た経営状況の改善であったり、何か戦略的なものを御提示いただければ少し安心はできる  
んですが、いかがでしょうか。

○志満局長

今委員おっしゃったように、これまでは公営企業というか、交通局として、市民の足の  
確保、採算とか収支だけにとらわれず、どうしても移動手段としてバスを使わざるを得な  
い高齢者の方、若い方、そういう方の足の代わりといいますか——公営企業の役割、使命  
があるということで、我々、路線等を敷設しております。

ただ、そうはいいながらも、一昨年と比べて、コロナのせいにはしないんですけど、3  
割以上やっぱり落ち込んでおります。昨年落ち込んで、昨年のレベルからどうにかこうに  
か、昨年の11月、12月、回復はしていたんですが、第6波が来て、去年と同じように推移  
しております。こういう状況がずっと続くということで、多分、コロナ前にはすぐに戻ら  
ないというのは我々も認識しております。

ただ、そうはいいながら、企業であることは間違いなく、今、うちのほうの乗務員もあ  
る程度不足の状況が続いております。全体の路線の見直しを——今年の10月1日にバスセ  
ンターがリニューアルしますので、それに合わせた形で、一定のバスダイヤと路線等の全  
体の業務量をちょっと減らそうと思っています。直接の影響が極力少ないように、そうい  
うふうな全体の業務量を減らしながら、今の人員で賄った形の路線の敷設、それと併せて  
今回、ポイントの経費等を削減しておりますけれども、これは市営バスだけじゃなくて、  
どこの公共交通もそういう経費の削減に今手を打たれています。そういう流れに我々も乗  
る必要があると思っていますので、経費の削減と全体の路線の圧縮、また、そういう守り  
だけじゃいけないので、今度はプラスの部分で何を行うかというところで、例えば、今日、  
議会の中でも立地適正化とか、いろんなそういう新たなまちづくりについての市の全体の  
施策がありますので、そういうのをにらみながら、タグを組みながら、新たな需要とか、  
新たな集客ができるようなまちなかに敷設するとか、そういう戦略的な路線の敷設も行い  
ながら全体の経費の削減と、少しでも収益が上がるところの商品を開発して、なおかつ、  
そこにうちが投入していくと、そういうことを併せてやっていきたいと考えております。  
よろしく願いいたします。

○実松委員長

ほかにございませんか。

○江原副委員長

では、営業外収益の雑収益になりますかね、駐車場収入。敷地の中の部分を、たしか佐  
賀銀行の従業員駐車場か何かにお貸しになっていたと思うんですけども、台数と単価と  
年間の駐車場収入を教えてください。

○大野副局長

今の利用状況としましては、近隣の事業所、お話がありましたが、佐賀銀行にお勤めの方、あるいは近辺の事業所にお勤めの方の御利用が中心になっております。

それから、単価については月6,300円です。54台が駐車可能です。年間大体400万円程度、前後はしますけど、単純に掛けると大体400万円程度の収入というふうになるかと思えます。

○実松委員長

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

じゃ、皆さんないですね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかに御質疑もないようですので、交通局の職員は退室いただいて結構です。

委員の皆様はこのままお残りください。

◎執行部退室

○実松委員長

付託議案に関して、現地視察の御希望はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

今回の現地視察の希望はないということですので、次回の委員会の日程は3月3日木曜日午前10時からですので、よろしく願いいたします。

以上で本日の経済産業委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

令和 年 月 日

経済産業委員長 実 松 尊 信